



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月13日

上場会社名 株式会社シノプス 上場取引所 東
 コード番号 4428 URL https://www.sinops.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南谷 洋志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 島井 幸太郎 TEL 06 (6341) 1225
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	675	5.9	94	△33.4	94	△33.2	60	△37.0
2018年12月期第3四半期	637	—	142	—	141	—	96	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	10.14	9.79
2018年12月期第3四半期	19.41	—

- (注) 1. 当社は、2018年3月12日開催の取締役会決議により2018年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合、2019年6月14日開催の取締役会決議により2019年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。2018年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 2018年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、2017年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2018年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2019年12月期第3四半期	1,374		1,176		84.7	
2018年12月期	1,246		980		77.1	

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 1,163百万円 2018年12月期 961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—		
2019年12月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	31.2	300	30.2	300	39.9	199	54.0	33.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

業績予想の1株当たり当期純利益については、新株予約権の行使及び2019年6月14日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月1日を効力発生日とした、普通株式1株につき5株の割合での株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2019年12月期の通期の1株当たり当期純利益は166円40銭となります。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	6,030,000株	2018年12月期	5,762,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	45株	2018年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	5,981,362株	2018年12月期3Q	4,962,000株

（注）当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合、2019年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。このため、当該株式分割が2018年12月期の期首に行われたと仮定して、発行済株式総数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会について）

当社は、2019年11月26日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも決算発表後すみやかに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

a. 経営環境

2018年10月から2019年9月における小売業市場は146兆4,930億円となり、前年比1.59%増と堅調な推移を見せております(注)。しかし、小売業におきましては、人手不足による人件費の上昇、物流コストの上昇等の逆風が加わる中で、コンビニエンスストアやドラッグストア等の他業態との垣根が低くなり競争が激化しております。また、店舗形態の多様化やネット通販の拡大、ネット店舗とリアル店舗の融合等、事業環境の大きな変化が継続しており、以前にも増して厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社は、現在の主要顧客である食品スーパーマーケット市場での「sinops」の導入実績を増やす一方で、食品スーパーマーケット以外への拡販活動や惣菜を中心とした新しいカテゴリ向けの製品開発も進め、小売業市場全体における「sinops」のシェア拡大に努めてまいりました。

その結果、当社の導入実績は、2019年9月30日時点で契約企業数76社、稼働拠点数5,018拠点に増加し、店舗展開が順調に拡大しております。当第3四半期累計期間における売上高は675,341千円、営業利益は94,780千円、経常利益は94,746千円、四半期純利益60,679千円となりました。

出所 (注) 経済産業省「商業動態統計速報」

b. 経営成績の分析

当第3四半期累計期間における売上高は675,341千円(前年同期比5.9%増)、営業利益は94,780千円(同33.4%減)、経常利益は94,746千円(同33.2%減)、四半期純利益は60,679千円(同37.0%減)となりました。

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減
売上高	637,839	675,341	+37,502
売上原価	269,958	324,302	+54,344
売上総利益	367,880	351,039	△16,841
販売費及び一般管理費	225,673	256,258	+30,584
営業利益	142,206	94,780	△47,426
経常利益	141,937	94,746	△47,191
四半期純利益	96,316	60,679	△35,637

①売上高

第2四半期で期ズレした大型案件が当第3四半期に計上されたことが主要因となり、当第3四半期累計期間における売上高は675,341千円となりました。当第3四半期累計期間は導入支援及びユーザーの店舗展開が順調に進み、サポート売上高及びレンタル売上高が前年同期比56,014千円増加しました。一方、パッケージ売上高及び導入支援売上高が前年同期比18,511千円減少した結果、売上高は37,502千円増加(前年同期比5.9%増)となりました。

ただし、継続が確定している第4四半期(2019年10月～12月)のサポート売上高及びレンタル売上高が126,609千円、第4四半期計上予定の受注済パッケージ売上高が約200,000千円あり、現時点で受注残を含めた通期売上高は1,001,950千円となり、通期での増収が確定しております。

また、未受注案件の商談も進展しており、通期業績予想である売上高1,200,000千円に変更はありません。

②売上総利益

当第3四半期累計期間は、主に人材採用及び製品開発への投資を追加し、売上原価が前年同期比54,344千円増加(前年同期比20.1%増)となりました。その結果、売上総利益が351,039千円(前年同期比4.6%減)となりました。

また、採用計画及び製品開発計画は予定通りに進捗しているため、通期業績予想である売上総利益679,924千円に変更はありません。

③営業利益・経常利益

当第3四半期累計期間は、主に営業部門の人材採用及び研究開発への投資を増やし、販売費及び一般管理費が前年同期比30,584千円増加(前年同期比13.6%増)となりました。その結果、営業利益が94,780千円(前年同期比33.4%減)、経常利益が94,746千円(前年同期比33.2%減)となりました。

また、販売費及び一般管理費は予定通りに進捗しているため、通期業績予想である営業利益300,933千円に変更はありません。

④四半期純利益

当第3四半期累計期間における四半期純利益は60,679千円(前年同期比37.0%減)となりましたが、上記の結果、通期業績予想である当期純利益199,467千円に変更はありません。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における総資産は1,374,910千円(前事業年度末比128,024千円の増加)となりました。主な要因は、現金及び預金が83,565千円、無形固定資産が41,707千円増加したこと等によるものであります。

②負債

負債は198,231千円(前事業年度末比68,588千円の減少)となりました。主な要因は、未払法人税等が27,701千円、その他流動負債に含まれる未払金が29,127千円、1年以内返済予定の長期借入金が7,487千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

純資産は1,176,679千円(前事業年度末比196,613千円の増加)となりました。主な要因は資本金及び資本剰余金がそれぞれ70,723千円、利益剰余金が60,679千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期通期の業績予想につきましては、2019年2月14日の「2018年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	810,529	894,095
売掛金	225,032	210,911
仕掛品	12,809	15,339
その他	13,056	14,889
流動資産合計	1,061,427	1,135,236
固定資産		
有形固定資産	13,086	19,046
無形固定資産	72,590	114,297
投資その他の資産	99,780	106,330
固定資産合計	185,458	239,674
資産合計	1,246,885	1,374,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,411	8,790
1年内返済予定の長期借入金	14,996	7,509
未払法人税等	46,201	18,500
賞与引当金	7,935	35,308
製品保証引当金	23,354	20,342
受注損失引当金	3,582	920
その他	149,451	103,618
流動負債合計	257,932	194,989
固定負債		
長期借入金	5,843	—
退職給付引当金	3,043	3,241
固定負債合計	8,886	3,241
負債合計	266,819	198,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,373	405,096
資本剰余金	294,803	365,526
利益剰余金	332,724	393,403
自己株式	—	△99
株主資本合計	961,900	1,163,927
新株予約権	18,165	12,751
純資産合計	980,065	1,176,679
負債純資産合計	1,246,885	1,374,910

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	637,839	675,341
売上原価	269,958	324,302
売上総利益	367,880	351,039
販売費及び一般管理費	225,673	256,258
営業利益	142,206	94,780
営業外収益		
受取利息	3	7
受取保険料	180	120
物品売却益	5	70
その他	143	89
営業外収益合計	332	286
営業外費用		
支払利息	202	80
売上割引	322	166
為替差損	66	73
その他	9	0
営業外費用合計	601	321
経常利益	141,937	94,746
特別利益		
新株予約権戻入益	—	268
特別利益合計	—	268
税引前四半期純利益	141,937	95,014
法人税、住民税及び事業税	40,789	40,381
法人税等調整額	4,831	△6,045
法人税等合計	45,621	34,335
四半期純利益	96,316	60,679

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月17日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式発行37,200株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ61,260千円増加しております。

また、当第3四半期累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ9,462千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が405,096千円、資本剰余金が365,526千円となっております。

(セグメント情報)

当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。